

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和7年度宮崎管内道の駅利活用検討業務
業 務 概 要	計画準備 1式、道の駅利活用検討 1式、道の駅BCP計画の実施支援1式、管内道の駅の基礎資料の更新 1式、報告書作成 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所長 大嶋 一範 宮崎市大工2丁目39番地
契 約 年 月 日	令和 8年 2月16日
契 約 業 者 名	パシフィックコンサルタンツ (株)
契 約 業 者 の 住 所	福岡市博多区博多駅中央街7番21号
契 約 金 額	16,357,000円 (税込み)
予 定 価 格	16,357,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙の通り
業 務 場 所	宮崎河川国道事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 8年 2月17日
履 行 期 間 (至)	令和 8年 8月31日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和7年度宮崎管内道の駅利活用検討業務
2. 履行場所 宮崎河川国道事務所管内
3. 契約の相手方 住所：福岡市博多区博多駅中央街7番21号
会社名：パシフィックコンサルタンツ株式会社 九州本社
電話：092-418-8020
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、宮崎河川国道事務所管内の道の駅にて『道の駅』第3ステージ 中間レビューと今後の方向性』に基づく地方創生・観光の加速や、『まち』と『道の駅』が一体で戦略的に連携すること目的とした道の駅の利活用検討を行うものである。

2) 業務の内容

- | | |
|----------------|----|
| ○計画準備 | 一式 |
| ○道の駅利活用検討 | 一式 |
| ○道の駅BCP計画の実施支援 | 一式 |
| ○管内道の駅の基礎資料の更新 | 一式 |
| ○報告書作成 | 一式 |

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を30者が入手（ダウンロード）し、4者から参加表明書が提出され、4者が参加資格を有していた。

参加資格を有する4者を技術提案書の提出者として選定し、4者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び「道の駅第3ステージ 中間レビューと今後の方向性」を踏まえた道の駅利活用を検討する際の着眼点と留意点に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「実施方針」における業務理解度、「実施手順」における実施フロー、工程計画の工夫「その他」における有益な代替え案、重要事項の指摘が記載されていること及び評価テーマの「道の駅第3ステージ 中間レビューと今後の方向性」を踏まえた道の駅利活用を検討する際の着眼点と留意点」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法が理論的に整理され、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、総合的に最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

宮崎河川国道事務所 計画課長